

平成26年度 第2回学校評議員会 報告

岩手県立宮古工業高等学校

- 1 開催日時 平成27年2月6日(金) 15:30~16:30
- 2 開催場所 本校校長室
- 3 出席者

- (1) 評議員 伊藤 恒夫(宮古市産業支援センター)
菊池 誠也(津軽石中学校長)
本田 泰三(前PTA会長)
芳賀 健児(会社員)
前川 圭(会社員:同窓会副会長)

- (2) 学校側 校長、副校長、事務長、総務部長、教務部長

4 内容

(1) 校長挨拶

学校経営計画について(数値目標の達成度等)

(2) 報告

ア 今年度の宮古工業高校(校報「山ぼうし」等)

イ 平成26年度学校評価について

5 学校評議員からの質疑・意見等

芳賀 健児 様

工業高校で取り組んでいるものづくり女子について、自分の会社で考えると製造現場であり仕事としては、工作機械オペレータなので女性の方は少ない。そのため工作機械オペレータに従事できる女性の方を増やしたい。男性よりも女性の方が向いている作業は沢山ある。女性の方に興味をもってもらえるような職場にしたい。そのため「ものづくり女子」についてもっとPRしていただき、希望者の増加に繋がれば企業としても助かる。

子ども的人数が減っていることも影響していると思いますが、金型関連人手があまりない。そのため工業高校には、地元企業を支える人材を多く育てて欲しい。

基礎学力の向上に向け引き続き取り組んでほしい。

時々ホームページを拝見している。工業高校では様々な取り組みをしているのが素晴らしい。今後も宮古工業高校を応援して参りたい。

前川 圭 様

「あいさつが大切」だと思います。二中の地域の人たちより挨拶がもっとできるようになると良いと言われている。中学生ぐらいだと照れくさい部分もあり外部の人になかなか挨拶できないでいるが、工業高校に来ると知らない私にも挨拶してくれるので、工業高校に入学すると改善されると思った。

地域によっては、子どもたちに震災の影響による差が出てきているところもある。まわりの大人に気を遣ってきて生活してきたことも原因かもしれない。

菊池 誠也 様

お願いとして、「鮭の町復興クリーン大作戦」は、小・中・高の連携として実施しているすばらしい事業であり、他ではやっていないと思います。今後も継続して欲しい。活動するグループ単位を小人数に分けて（区域を細かくして）欲しい。（先頭の方は、ゴミを拾うけれど、人数が多いと後ろの方はただ、くっついて歩いているだけになってしまうから。）

出前授業については、復興教育に係わる理科の授業が良いと思われる。内容の検討打合せ等することで良いものに仕上がるのではないかと。基礎学力の向上について、それぞれの教科で取り組んで頂いていることについては、とてもありがたい。

心のケアとして先生方が生徒に負担をかけないようにと、先を読んで子どもたちに手をかけてあげていことが、自分で進んでやることをしなかったことに繋がってしまったのかもしれない。学校の中では挨拶ができるのに、校外では挨拶ができなくなっている。

伊藤 恒夫（宮古市産業支援センター） 様

色々な指導をしていただき技術者としての姿勢もあるが、生徒達の元気がないというかおとなしいところが気になる。入社と同時に挨拶をしなくなる社員もいるようである。昔は、先輩と後輩の差があったが、馴れてくるとフレンドリーになってしまう。学力と人間性を重要視した生徒を宮古のこれからの時代のために、それぞれの個性を見て育てていかなければならない。

工業高校の卒業生は、入社してからの伸び率が高いと思う。そのためか他校の生徒と比較すると仕事への取組意欲も高くなっていると思われる。

職種もあるが、普通の性格であり、コミュニケーション能力のある人間が必要とされている。

宮古工業高校は、きめの細かい指導がされていて大変良い。地元の良い人材を残していきたいが、保護者の考えもあり難しいところもある。

先生という職業は、大変な仕事であるが、個々の生徒にあった指導をお願いしたい。今年度実施している各種の事業等を、これからも継続して欲しい。

本田 泰三 様

諸用のため報告のところまで参加いただきました。
ありがとうございました。